

平成26年度

事業報告書

社会福祉法人船橋市社会福祉協議会

事 業 報 告

船橋市社会福祉協議会（以下「市社協」）では、住民が安心して暮らすことができる地域が求められるなか、住民相互のつながりや支え合いによる福祉のまちづくりに向け、各事業の推進に努めてまいりました。

本年度は、4年目となります『第2次船橋市地域福祉活動計画』に基づき「誰もが自分らしく安心して暮らせる福祉のまちづくり（地域づくり）」を目指し、地域での諸問題を解決していくためのさまざまな仕組みづくりを具体的に検討する「第2次船橋市地域福祉活動計画推進委員会」及び「検討部会」を引き続き開催し、地域で具体的に実行できるよう推進に努めてまいりました。

東日本大震災から4年が経過し、徐々に復旧・復興が進んでいますが、本市においては東日本大震災を教訓にボランティアセンターの充実を図るとともに関係行政や関係ボランティア及び西部ブロック地区社会福祉協議会（以下「地区社協」）と協力し「災害ボランティアセンター立ち上げ訓練」を教育センターで行いました。

また、災害時や緊急時の対応を図るべく、「安心登録カード事業」と「災害時要援護者避難支援事業」の連携を図るために、市社協と地区社協はもとより地域の町会・自治会、民生児童委員及び各関係団体などと連携・協働し、要援護者の支援対策としてハガキによる安否確認や見守り活動の推進に努めました。

市社協の運営基盤強化を図る上での自主財源確保として、会費（賛助・特別・法人・団体）の増強や自動販売機（飲料水等）設置業者の入札を行い収益の増額に努めました。また、馬込斎場売店運営に伴う収益の増強を目指してきましたが、家族葬の増加により収益が目標額を下回る結果となっております。

市社協の自主事業であります「福祉銀行の貸付」や千葉県社会福祉協議会が実施主体の総合支援資金等の「生活福祉資金の貸付事業」については、引き続き職員体制を強化し、離職等の生活困窮者への支援を行ってまいりました。

さらに高齢者等の「日常生活自立支援事業（地域福祉権利擁護事業）」の利用促進の周知に努めた結果、利用者が増えております。また、成年後見制度利用支援事業の実

施を見据えて、市民成年後見人養成講座を開催しました。

指定管理者として、2館（中央・南）の「老人福祉センターの管理運営」を行っておりますが、本年度で最後となることから新たに指定管理者として申請し、平成27年度から5年間引き続き行うこととなりました。

なお、「一般貸切旅客自動車借上利用事業」につきましては、ほぼ計画どおりの利用となっております。

このように、さまざまな事業の推進を図るうえにおいては、全体的に考察すると、ほぼ計画どおりに実施し、地域福祉の推進に努めることができましたが、年々共同募金の落ち込みや馬込斎場売店売り上げの減収など財源確保には苦慮しているところであります。

今後は、本年度開催できませんでした理事会の「財政部会」や「事業部会」を来年度開催するなかで、今まで以上に事業の見直しや経費の削減に努めるよう検討協議をまいります。

重点事項	施策の内容	成果
1) 社会福祉協議会の基盤強化及び自主財源の確保	(1)個人会員・賛助会員等の増を図る	<p>会員増強のため、「ふなばし福祉」にPR記事を掲載するとともに、町会・自治会長宛に賛助会員の協力依頼を行った。</p> <p>また、特別・団体・法人会員についても協力依頼を行い、会費総額は、前年度より増額となった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・賛助会員 24,651,235 円 ・特別会員 550,400 円 ・団体会員 1,020,000 円 ・法人会員 1,240,000 円 <p>合計 27,461,635 円 ※前年度より 473,608 円増</p>
	(2)収益事業の継続運営	<p>馬込斎場売店運営については、従来の形態が変わってきていること（家族葬の増）から、売店運営にも影響している。</p> <p>自動販売機（飲料水）設置については、入札を実施し増収を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自動販売機設置台数 70 台
	(3)自主事業による財源確保	<p>入れ歯回収ボックスを市役所や老人福祉センター、地区社協に設置し、財源確保に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設置か所 市役所 29 か所 各地区社協等 ・回収個数 223 個 ・還元金 72,539 円

重点事項	施策の内容	成果
2) 地区社会福祉協議会の充実強化を図るための支援	(1)ミニデイサービス事業の充実 (24地区で実施)	<p>全ての地区社協で実施され、地域福祉の向上が図られたが、実施会場の確保や若年ボランティアの確保が難しい中、多くのボランティアの協力により実施され、地域福祉の推進が図られた。</p> <p>・実施回数 600回 ※前年度実施回数 582回</p>
	(2)ふれあい・いきいきサロン事業の充実 (24地区実施)	<p>公共施設（公民館等）や町会・自治会館を利用し、高齢者及び障がい者、子供たちが気軽に参加し、世代を越えた仲間づくりの場として実施することにより地域福祉の向上が図られた。</p> <p>・実施回数 629回 ※前年度実施回数 577回</p>
	(3)子育てサロン事業の推進 (24地区実施)	<p>地域内で子育てについて情報交換や相談をする場が少ない親子を対象として情報交換や育児相談、母親（親子）同士が交流できる場を提供し、地域福祉の向上が図られた。</p> <p>・実施回数 471回 ※前年度実施回数 466回</p>
	(4)ボランティア育成事業の充実 (24地区実施)	<p>新たなボランティア登録者や継続したボランティア活動を行うための研修や講座を開催する中で、講師の派遣調整に協力を行った。</p> <p>・実施回数 152回 ※前年度実施回数 124回</p>

重点事項	施策の内容	成果
	(5)地区社協広報紙の発行 (24地区で発行)	地区社協では、年間1～7回広報紙を全戸配布し、情報の提供を行った。
	(6)地域福祉まつりの充実 (24地区で開催)	多くの参加者を得て各種団体との連携、交流が図られたほか、啓発活動にも努め、福祉への関心を高めるとともに実施内容の相談に努めた。 ・実施回数 33回
	(7)福祉相談事業の推進 (24地区で開催)	地域住民の身近にあり、気軽に相談ができる地区社協に福祉相談窓口を地区社協に開設し、地域の福祉機関・団体や行政と連携しながら、福祉相談の解決に努めた。 ・相談件数 3,488件 児童相談 346件 介護相談 253件 障がい児者相談 61件 医療相談 135件 隣人関係相談 173件 家族関係相談 112件 その他 2,408件
	(8)自主事業の推進 湊町地区社協	地域における仲間づくり・生きがいづくりに寄与する事業及び住民相互のふれあい・交流を目的とした事業を下記の地区社協が市補助金を活用し実施し、地域福祉の推進を図った。 ・「それいゆ大学」 地域で助けあっていく知恵や安全に生活していく知恵を学ぶことが目的。 実施回数 8回 ・「パソコン教室」 実施回数 20回

重点事項	施策の内容	成果
	<p>夏見地区社協</p> <p>高根台地区社協</p> <p>二和地区社協</p> <p>三咲地区社協</p> <p>松が丘地区社協</p>	<p>・「のど自慢大会」 カラオケを楽しみながら異世代間交流が目的。 実施回数 1回</p> <p>・「スポーツ交歓会」 軽スポーツを楽しみながら異世代間交流が目的。 実施回数 1回</p> <p>・「多目的サロン」 「笑いは心とカラダに良い効果」を実践している多世代間交流の場及び防災の問題なども組み入れ、住民意識を高めることが目的。 実施回数 74回</p> <p>・「はつらつ健康教室」 健康体操を通じ、「いつまでも健康ではつらつと過ごせるように」が目的。 実施回数 12回</p> <p>・「いきいき健康」 地域内の中高年の仲間づくりと生きがいづくり、新たな人材確保が目的。 実施回数 20回</p> <p>・「街中清掃」 地域内の中学生及びその関係者と一緒にゴミ拾いを行うことにより、生徒と地域住民の交流を図ることが目的。 実施回数 1回</p> <p>・「グランドゴルフ大会」 地域の高齢者が元気で活動でき、交流を図ることが目的。 実施回数 1回</p>

重点事項	施策の内容	成果
	<p>坪井地区社協</p> <p>塚田地区社協</p> <p>高根・金杉地区社協</p> <p>習志野台地区社協</p>	<p>・「親子塾」 若い世代の家族へ社協事業の参加を促す為、小学校の親子を対象とした工作教室などを開催し、互いに支え合う街づくりを目指し、地域の活性化を図ることが目的。 実施回数 5回</p> <p>・「スタッフ交流会～ボランティアの交流～」 ボランティアが継続して活動できるよう、情報交換などで交流を図ることが目的。 実施回数 1回</p> <p>・「歌って楽しいクリスマス世代間コンサート」 クリスマスイベントを通じて世代間交流が目的。 実施回数 1回</p> <p>・「ゆる体操」 健康体操を通じ「いつまでも健康ではつらつと過ごせるように」が目的。 実施回数 20回</p>
	<p>(9)活動拠点整備事業の推進</p> <p>湊町地区社協 (拠点設置)</p> <p>高根台地区社協</p>	<p>下記の地区社協が各事業を行うにあたり、市補助金を活用し、安定した会場確保ができ、地域福祉の推進が図れた。</p> <p>・それいゆ 実施回数 81回</p> <p>・楽し荘 実施回数 270回</p>

重点事項	施策の内容	成果
	三咲地区社協 三田習地区社協 塚田地区社協 二宮・飯山満地区社協 八木が谷地区社協 高根・金杉地区社協	<ul style="list-style-type: none"> ・町会会館 実施回数 12回 ・市民センター 実施回数 44回 ・管理組合集会所 実施回数 2回 ・町会会館 実施回数 9回 ・町会会館 実施回数 43回 ・町会会館 実施回数 8回
	(10)ひとり暮らし高齢者等 地域交流促進事業の推進 湊町地区社協 海神地区社協 本中山地区社協 前原地区社協 三田習地区社協 二和地区社協 三咲地区社協	下記の地区社協で市補助金を活用し、実施されひとり暮らし及び日中一人になる高齢者で引きこもりがちな方・介護保険認定外（自立判定者）の方の地域交流、閉じこもり防止に努めた。 デイ銭湯（実施回数24回） デイ銭湯（実施回数8回） デイ銭湯（実施回数6回） 移動ミニデイ（実施回数1回） 移動ミニデイ（実施回数1回） 移動ミニデイ（実施回数1回） 移動ミニデイ（実施回数1回）

重点事項	施策の内容	成果
	(11)地区社協事務局員の充実強化	多様化する福祉ニーズに対応できるようブロック毎に事務局員の研修等を実施するとともに、資質の向上に努め、また、市社協と地区社協の事務調整の連携に努めた。
	(12)地区社協の育成及び支援	3地区社協（湊町・塚田・豊富）は独自のホームページなどを開設し、情報提供に努めた。 また、主要5事業の拡充及び自主事業の充実強化に努めた。
3) 第2次地域福祉活動計画の推進	(1) 第2次活動計画の促進	<p>第2次活動計画の推進を図るため「推進委員会」「検討部会」を次のとおり開催した。</p> <p>【会議開催及び議題】</p> <p>◆推進委員会 開催日：H26年8月25日 議 題：検討部会からの答申について、平成25年度活動計画進捗状況報告書について</p> <p>◆検討部会 開催日：H26年6月30日 議 題：(仮称)地域福祉関連団体連絡協議会の設置、福祉相談窓口の充実</p> <p>開催日：H26年9月29日 議 題：重要課題の推進委員会への答申報告について、平成25年度活動計画進捗状況報告書について</p>

重点事項	施策の内容	成果
4) 安心登録カード事業の促進	(1)安心登録カード事業の推進	<p>災害時及び緊急時における要援護者の救援・支援を図るため、「安心登録カード事業」について全地区社協で実施した。</p> <p>また、行政（市）が進めている「災害時要援護者避難支援事業」との連携を図るため、事務支援の整備に努めた。</p> <p>◆安心登録カード事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登録者数 17,513人 <li style="padding-left: 20px;">《内訳》男性 6,872人 <li style="padding-left: 40px;">女性 10,641人 <p>◆電話等見守り活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施地区社協 14地区 (高齢者福祉課対象2地区含む) ・見守り回数 延16,097回 ・見守り対象者数 延4,877人 ・見守り活動者数 延262人
5) ボランティアセンター事業の充実	(1)ボランティアセンターの運営	<p>ボランティアの相談及び登録業務を地区社協等の協力を得て行った。</p> <p>また、専門的なボランティア講座等も開催し、知識や技術の向上に努めるとともに、入門講座も開催し、新たなボランティアの発掘や活動の意識を深めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規ボランティア依頼件数 200件

重点事項	施策の内容	成果
		<p>・ボランティア登録人数 4,515人 【内訳】 グループ(203) 4,145人 個人 370人</p> <p>◆東日本大震災被災者支援の 災害ボランティア登録数 116人 【内訳】 市内 111人 市外 5人 県外 0人</p>
	(2)ボランティア団体との 連絡	<p>ボランティア連絡協議会が 行う研修会や隔月行っている 役員会及び運営委員会に出席 し、連絡調整に努めた。 また、各グループの活動に対 し、助言及び協力支援に努め た。</p>
	(3)ボランティア研修・講 座の開催	<p>研修及び講座等を主催・共催 し、ボランティアの心得や知 識・技術を身につけるため、研 修内容の充実を図り、資質の向 上に努めた。 また、ボランティア同士の情 報交換の場として交流会も開 催し、支援に努めた。</p> <p>・中学生ボランティア養成講座 3日間 21人 ・シニアボランティア研修会 85人 ・ボランティア交流会 「障がい者と集う」77人 ・ふれあい交流会 「野の花の家視察」36人</p>

重点事項	施策の内容	成果
		・災害避難者支援事業 「生きぬく」上映会 66人 「避難者交流会夏祭り」 10人 「日帰り交流会」 12人
	(4)福祉教育の推進 ※市社協指定校 小学校 54校 中学校 27校 高校 15校	推進指定校としての取り組みでは、学校での体験学習に対する車椅子及び高齢者擬似体験に伴う指導や用具の貸出しに努めるとともに、職員及びボランティアを派遣し、体験学習の支援に努めた。 また、千葉県福祉教育推進指定校として行田東小・行田西小・行田中・県立船橋啓明高校が指定され、併せてその推進団体として塚田地区社協が指定された。(平成24～26年度)
	(5)福祉用具等の貸し出し	車椅子の必要な方や地域福祉まつり、ボランティア入門講座や研修会、学校の体験学習に貸出しを行い、福祉の推進に努めた。 ・車椅子体験及び貸出件数 19件：113台 ・高齢者擬似体験用具貸出件数 18件：106箱 ・アイマスクの貸出件数 7件：270個 ・点字板の貸出件数 4件：35枚 ・AED貸出件数 2件 ・車椅子貸出件数 49件

重点事項	施策の内容	成果
6) 災害時ボランティア活動等の検討	(1)災害時ボランティア活動等の検討	<p>災害時ボランティアセンター立ち上げ訓練等をすることで、関係機関・団体と情報の共有を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・立ち上げ訓練の実施 開催日：H27年2月15日 場 所：船橋市総合教育センター・視聴覚センター 参加者：73人 ・シェイクアウト訓練の実施 開催日：H26年9月1日 参加者：18人 ・災害時要援護者（要配慮者）対策訓練に参加 開催日：H27年3月24日 参加者：3人
7) ふなばし高齢者等権利擁護センター事業の推進	<p>(1)市民に対する制度の周知徹底と利用促進</p> <p>※主な相談内容(相続・成年後見、遺言)</p>	<p>判断能力が十分でない高齢者や障がいのある方が自立した地域生活を送れるよう、生活支援員（13人）の協力及び関係機関との調整を図り支援に努めた。</p> <p>また、成年後見制度の周知と市民後見人の養成を目的として「初心者のための市民後見人養成講座」を行った。</p> <p>開催日：H27年2月7日・21日 場 所：中央公民館集会室 修了者：24人（申込者33人）</p> <p>【権利擁護センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・権利擁護相談延件数 162件 ・総契約件数 49件 新規契約件数 25件 解約件数 15件 ・高齢者法律相談受付件数 36件

重点事項	施策の内容	成果
8) 低所得対策事業の促進	(1)低所得対策事業として、福祉銀行・生活福祉資金の貸付	<p>福祉銀行の貸付及び償還については、生活支援課との連携強化に努めた。また、滞納者については、督促状を送り償還率アップに努めた。</p> <p>また、生活福祉資金の貸付については、民生児童委員と連携を図るとともに、償還指導についても民生児童委員の協力を得、強化を図った。</p> <p>・福祉銀行貸付</p> <p>相談件数 2, 393件 金銭交付 81件 20, 740円 金銭貸付 876件 9, 816, 460円</p> <p>償還金 8, 894, 460円</p> <p>・生活福祉資金貸付</p> <p>相談件数 1, 808件 教育支援資金 68件 101, 346, 100円 福祉資金福祉費 30件 6, 235, 400円 緊急小口資金 66件 5, 786, 800円 総合支援資金 15件 4, 332, 465円 臨時特例つなぎ資金 0件 0円 不動産担保型生活資金 1件 26, 012, 000円 要保護世帯向け不動産担保型生活資金 4件 19, 131, 000円 生活復興支援資金 0件 0円</p> <p>※生活福祉資金の償還は県社協が事務処理</p>

重点事項	施策の内容	成果
9) 老人福祉センター管理運営の推進	(1)老人福祉センターの運営充実	<p>老人福祉センターを利用することにより、高齢者の生きがい健康づくり及び教養の向上が図られるよう各種相談活動やサークル活動、クラブ活動などの促進に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中央人福祉センター 利用者累計 63,859人 1日平均利用者 214人 ・南老人福祉センター 利用者累計 64,093人 1日平均利用者 219人
10) 高齢者・障がい者などの地域生活の支援	(1)在宅福祉サービス事業の促進	<p>高齢者や障がい者の方々の通院、施設への入所、ミニデイサービス事業への送迎に貸出を行い、在宅福祉の向上を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リフトカー貸出延利用者数 29人 <p>在宅福祉の一環として、家事援助活動が多くボランティアの協力によって実施された。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民参加型在宅福祉活動（たすけあいの会） (団体数 24団体) ・お休み処第1号「ホッとこころ咲が丘」 来場者 延3,968人 (1日平均 18人) ボランティア数 16人 ・お休み処第3号「ほっとスクエア夏見」 来場者 延3,641人 (1日平均 16人) ボランティア数 24人

重点事項	施策の内容	成果
1 1) 福祉情報の提供	(1)ふなばし福祉の充実	<p>広報紙を全戸配布することにより地域住民に福祉に対する理解が得られるよう年3回発行し、情報提供に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報紙の配布 発行号 81~83号 発行部数 594,000部 ・インターネットを活用した情報提供に努めた。 ・ホームページの活用 アクセス件数 29,598件
1 2) 市受託事業の効率的運営とサービスの向上	(1)福祉リフトカーの運行促進	<p>障がい者やねたきり高齢者の通院など、2台のリフトカーにより利用者のサービスに努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運行回数 389回 ・利用者数 184人
	(2)米寿記念写真事業の促進	<p>写真ボランティアの協力を得て、米寿記念写真を撮影した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・撮影者 83人 (該当者 1,598人) <p>※10月に市役所1階ロビーにて写真展を開催し、市民へのPRに努めた。</p>
	(3)老人クラブ自動車支援事業の促進(福祉バスの運行)	<p>年間を通して多くの老人クラブに利用されており、特に安全運行に注意をし、老人クラブ会員の研修及び親睦のための支援に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運行回数 154回 ・利用者 延5,271人

重点事項	施策の内容	成果
13) 次代を担う青少年の健全育成事業の支援	(1)市内青少年の健全育成及び非行防止	<p>当会が設置する子どもの遊び場の点検を行い、事故防止に努めた。また、青少年の健全育成を図るため、少年少女団体連絡協議会や青少年関係団体等との連携を図り、事業に対する助成及び団体の育成に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの遊び場 16ヶ所 ・おもちゃの図書館の運営 <ul style="list-style-type: none"> 東図書館 利用者延112人 西図書館 利用者延84人
14) 社会福祉協議会の運営・事業の透明化	(1)情報の開示	<p>事務関係資料の整理整頓に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開示件数 0件
	(2)個人情報の安全管理	<p>保有する個人情報の適正な管理を行い、安全確保に努めた</p>
15) 福祉サービス利用者保護のための体制整備	(1)福祉サービスに対しての苦情解決	<p>市民からの苦情に速やかな対応を図るため、第三者委員会を設置している。要望や苦情に対しては、速やかな対応に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・苦情・要望件数 6件 ・第三者委員会の開催 0回
16) 社会福祉事業振興貸付事業の促進	(1)高齢者、障害者施設及び保育施設の整備支援	<p>社会福祉事業振興資金は、施設の新設や増改築費として活用され、社会福祉法人や施設利用者にとっての利便が図られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・16年度～25年度までの貸付件数 10施設 ・26年度 0件

重点事項	施策の内容	成果
17) 福祉イベントの開催	<p>(1) 地域福祉フォーラム事業</p> <p>・高根・金杉地区社協</p>	<p>・「笑いこそ人生最高のビタミン剤」をテーマに、講演会を開催した。</p> <p>開催日：H26年10月25日 開催場所：高根公民館 参加者：38人</p> <p>・「歌って楽しいクリスマス融合コンサート」を開催した。</p> <p>開催日：H26年12月21日 開催場所：高根公民館 参加者：105人</p> <p>・「バラエティー寄席」の実施</p> <p>開催日：H27年2月21日 開催場所：高根公民館 参加者：31人</p>
18) 共同募金事業の推進	<p>(1) 共同募金会船橋市支会事業の実施及び地域配分の効果的活用</p> <p>(2) 歳末たすけあい募金の適正配分</p>	<p>民間社会福祉事業を支援する役割があることから、市民に信頼と理解を得るため、広報紙でのPR及び街頭募金の実施に努めた。</p> <p>なお、「支え合いといたわり合いの地域づくり」を目指し、効果的な活用を努めた。</p> <p>・配分額 16,633,000円 ※前年比174,000円増</p> <p>配分委員会により適正配分を図ることにより、要保護世帯などに対し、福祉の増進に努めた。</p> <p>・配分額 21,289,643円 ※前年比402,756円増</p>

重点事項	施策の内容	成果
19) その他の事業	(1)「一般貸切旅客自動車借上バス」の運行	<p>多くの福祉関係団体等で視察研修ができるよう利用促進及び安全運転に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運行回数 139回 (内リフト付きバス 6回) ・利用者 延4,726人
	(2)老人クラブ自動車支援事業の促進(バス借上げ料補助)	<p>老人クラブ会員の研修などのためのバス借上げ支援に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運行回数 53回 ・利用者 延1,564人
	(3)各種団体との連携強化	<p>各種団体及び福祉施設との連携強化により、地域福祉の推進が図られた。</p>
	(4)船橋市行旅死亡人供養祭の開催	<p>船橋市内における身元不明により亡くなられた方々の霊を供養する供養祭を開催。</p> <p>開催日 平成27年2月16日 場 所 馬込霊園礼拝堂 供養柱数 503柱 (H26年度増 12柱)</p>